特集
01

鳥インフルエンザから地域を守る!!

昨年12月に発生した鳥インフルエンザの防疫作業には県内建設業界からご支援いただきました。
現場の活動を紹介します。

自然災害や鳥インフルエンザといった家畜伝染病が発生した際に、建設業界が社会的に重要な役割を担っていることを知っていますか？
今回は、なかなか知られていない、建設業界が担う非常に重要な役割とその活躍をご紹介します！

本県で初めて発生した高病原性鳥インフルエンザの防疫作業への支援（長崎県建設業協会）

県内で家畜伝染病が発生すると、まん延防止に向けて、早急に発生農場の家畜の埋却や消毒といった作業が必要となります。

昨年12月に佐世保市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生した際には、緊急の依頼にもかかわらず、長崎県建設業協会北部支部から、殺処分した家畜の埋却作業に従事する技術者を延べ56名動員していただきました。

重機作業のスペシャリストとして昼夜問わず作業していただき、予定を大幅に前倒して防疫作業を終えることができました！

殺処分した鶏の埋却地の掘削作業

埋却地掘削後

殺処分した鶏を入れたフレコンバッグの運搬

埋却地への積み下ろし

佐賀県武雄市での高病原性鳥インフルエンザ発生に伴う消毒ポイントにおける支援（長崎県造園建設業協会）

畜産関係車両の消毒作業

昨年12月に佐賀県武雄市で高病原性鳥インフルエンザが発生した際に、発生地域からのウイルス拡散を防止するため、本県に入ってくる畜産関係車両を消毒する「消毒ポイント」を設置しました。

この消毒ポイントにおける消毒作業には、長崎県造園建設業協会から延べ117名の技術者を動員していただきました！

国土交通省長崎河川国道事務所より、道路照明車の貸与を受け、夜間作業の効率化が図られました。

interview 01

防疫作業に従事された長崎県建設業協会北部支部の方に作業の様子などをお聞きしました

松林直樹さん

石原洋さん

中村義隆さん

question01 -- 作業内容をお聞かせください

（松林さん）重機を動かし、掘削から埋却作業を主にやりました。

（石原さん）埋却地の掘削は、９ｍ×４５ｍ、深さは４ｍと大変な作業でした。

question02 -- 当時の様子をお聞かせください

（松林さん）防護服を着た状態ではトイレも大変なうえ、夜間の作業では今季一番の寒さだったので、投光器の排気口の熱が本当に暖かく感じられました。

（中村さん）作業中は携帯電話が持てず、細かな連絡を伝えきれず苦労しました。最初は連携がうまくいかないこともあり、作業員同士で工夫して対処していきました。

question03 -- 今回の防疫作業を終えての感想をお聞かせください

（松林さん）大変な作業でしたが、地域のために頑張ろうという想いでやっていました。

（石原さん）重機を扱うオペレーターなど、人手不足を感じました。地域を助ける想いを持った若者にぜひ建設業に入ってほしいと思います。

interview 02

長崎県造園建設業協会の山本一太協会副会長に作業の様子などをお聞きしました

山本一太さん

question01 -- 作業内容をお聞かせください

指定された消毒ポイントで、佐賀県と長崎県を行き来する畜産関係車両を消毒する作業を主にやりました。

question02 -- 当時の様子をお聞かせください

車両の消毒作業は、タイヤからハンドルにいたるまで消毒するため１台あたり１０分から１５分かかりました。車両が集中する時間帯は特に大変でした。

question03 -- 今回の防疫作業に従事されての感想をおしえてください

社会貢献としての業界の役割の大切さを感じます。地元のために、県北のためにという想いを強く感じました。担い手が減っている中、社会貢献としての建設業界の頑張りを協会としてもアピールしたいです。

また、今回の活動にあたり各支部からの応援を受け、本当に感謝しています。

協会がまとまって、活動できたことでの連帯感を感じました。